

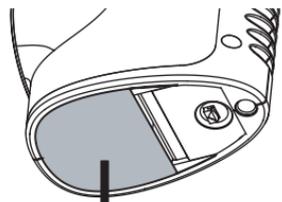
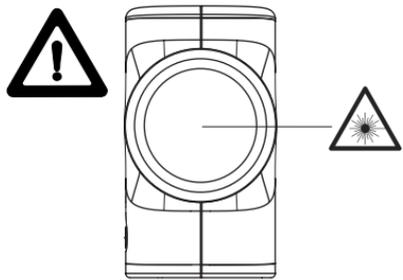
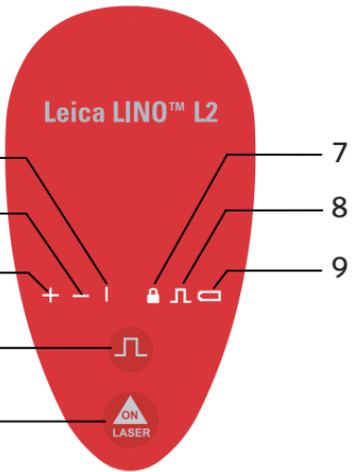
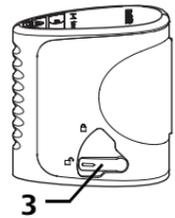
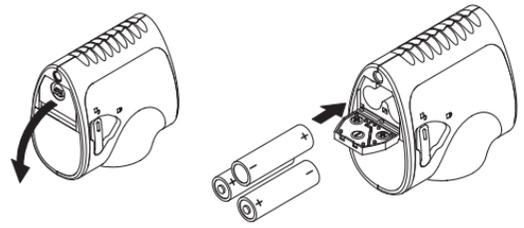
Leica LINO L2

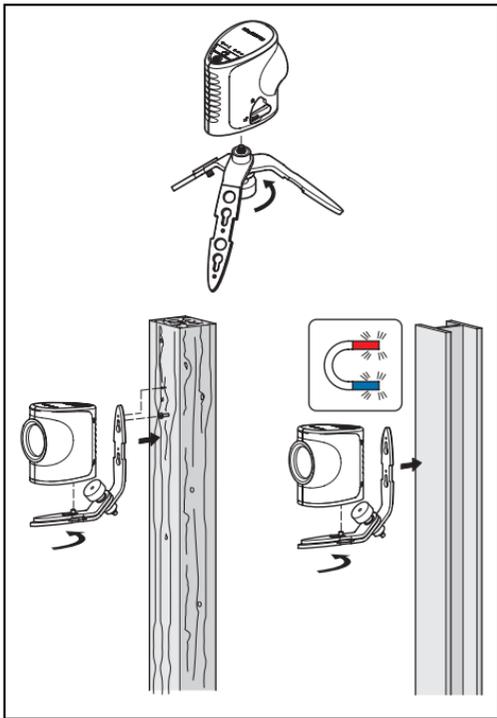
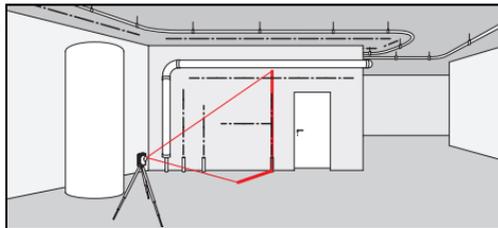
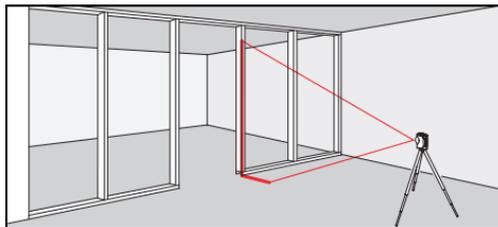
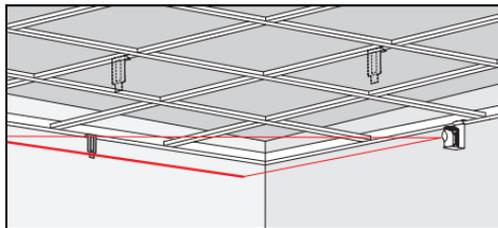
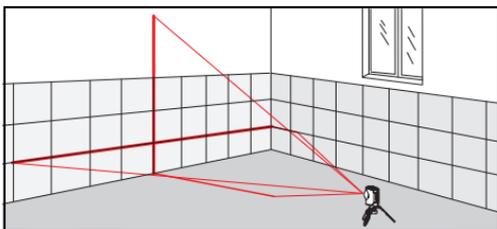
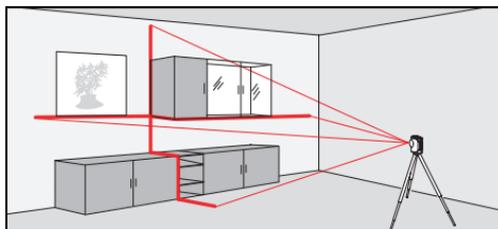
Self leveling alignment tool

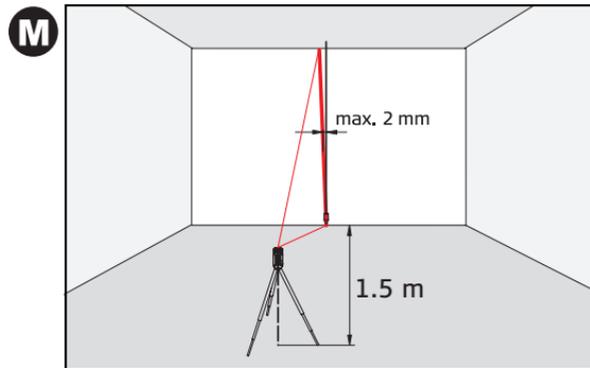
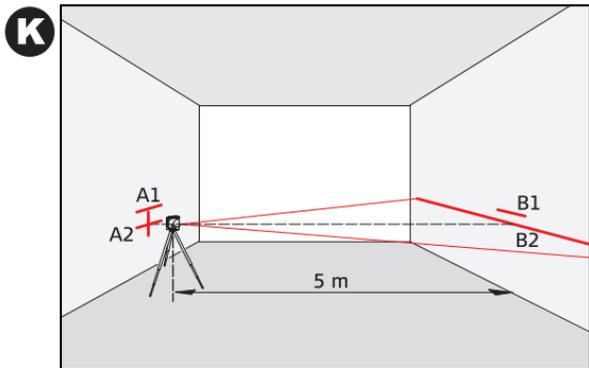
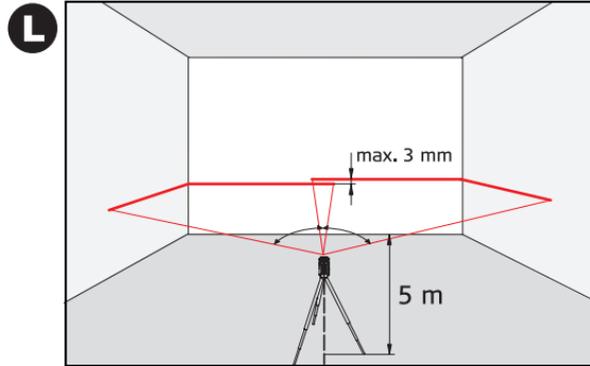
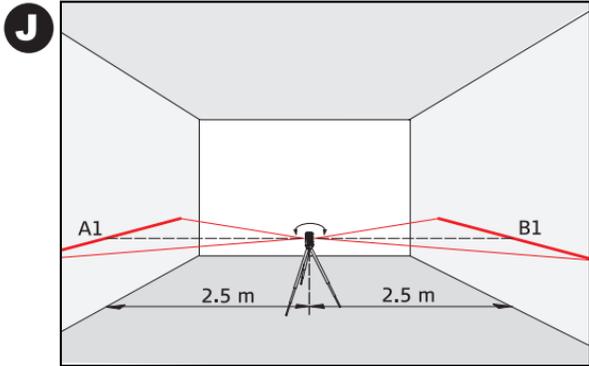


- when it has to be **right**

Leica
Geosystems

A**B****C**

D**F****G****H****E****I**



取扱説明書

バージョン 757665

日本語

この度は、Leica LINO をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。



安全の手引きは、操作方法を説明した項の後に含まれています。初めて距離計を使用する場合は、最初に、「取扱説明書」および「安全の手引

き」の項をよくお読みください。

注：「取扱説明書」の最初と最後のページに図が用意されています。「取扱説明書」をお読みいただく際に、これらのページを広げてご利用ください。{} 内の文字と数字は、参照先の図を示しています。

目次

はじめに	1
操作	1
テクニカルデータ	5
安全の手引き	5

はじめに

電池の挿入 / 入れ替え

図 {C} を参照 - ロックボタンを手前にスライドし、電池収納部から外します。電池収納部のカバーを開き、電池の両極を確認して電池を挿入します。電池カバーのロックをしっかりと閉じます。

電池残量が非常に低い場合、電池残量表示 {B,9} が点灯します。できるだけ早めに電池を交換してください。

- ・ 両極を確認して電池を挿入してください
- ・ アルカリ乾電池のみご使用ください
- ・ 電池は、長期にわたって製品を使用しない場合は、取り出しておいてください（液漏れ防止のため）

操作

キーパッドおよび操作方法

図 {B} を参照してください。

- 1 レーザー オン / オフ キー
- 2 パルス / 省電力モード キー
- 3 ロック スイッチ

ディスプレイ

図 {B} を参照してください。

- 4 レーザーたて / よこ
- 5 レーザーよこ
- 6 レーザーたて
- 7 ロック「オン」表示
- 8 パルス / 省電力モード「オン」表示
- 9 電池残量「少」

電源の入れ方、切り方

オン：「オン」キー {B,1} を軽く押します。

オフ：「オフ」キー {B,1} を押し続けます。

レーザー機能

「オン」キー {B,1} を押すと、次のレーザーがオンになります。

「オン」キー {B,1} を押すと、	オンになります。
1 回	レーザー クロスヘア（横方向と縦方向のライン）
2 回	横方向のレーザー光線
3 回	縦方向のレーザー光線

「オン」キー {B,1} をもう 1 度押すと、前の状態に戻ります。

自動水準器

およびロック機能

仕様にある角度範囲内で自動的に水平状態を維持します（「技術仕様書」を参照）。

自動水準器の傾度範囲を超える角度で使用する場合や、持ち運びする際には、ロックスイッチ {B, 3} を押します。ロックされると、振り子が固定され、自動水準器の機能が無効になります。

パルス / パワーモード機能

パワーモード機能が搭載されています。電源を入れるとパワーモードが有効になり、レーザー光線はより明るく、鮮明になります。

それほど鮮明なレーザー光線が必要なく、さらに電力を節約する必要がある場合は、[パルス] キー {B, 2} を押すとパルスモードが有効になります。

長距離 (>20 メートル) または周囲が明るい環境下でレーザーを確認できるようにするには、レーザー受光器を利用できます。パルスモードのレーザービームは、長距離でもレーザー受光器によって認識されます。

（レーザー受光器については、アクセサリを参照してください）

使用方法

使用例は、取扱説明書（本書）の裏表紙にあります。

Leica LINO L2 の精度の確認

 Leica LINO の精度を定期的に確認してください。さらに、重要な計測作業を実施する前には、必ず確認した上で計測を行います。

水平 / 垂直精度の確認

図 {J + K} を参照してください。

距離計を、約 5 メートル離れた 2 つの壁 (A+B) の中間にします。

「ロック」スイッチ {B, 3} の位置を「ロック解除」() に設定します。

壁 A に向け、レーザー オン {B, 1} キーを押し、電源を入れます。レーザー オン {B, 1} キーでレーザー たて / よこを有効にし、壁 A にレーザー たて / よこの交差位置を印します (-> A1)。

距離計を 180 度回転し、壁 B にレーザー たて / よこの交差位置を印します (-> B1)。

次に、壁 A の近く、(>A1) と同じ高さになるように設置し、もう 1 度、壁 A にレーザー たて / よこの交差位置を印します (-> A2)。180 度回転し、壁 B にレーザー たて / よこの交差位置を印します (-> B1)。A1 から A2 および B1 から B2 の交差位置の印の距離を計測します。2 つの計測値の差異を計算します。差異が 2 ミリメートルを超過しない場合、Leica LINO は許容範囲内にあります。

$$| (A1 - A2) - (B1 - B2) | \leq 2 \text{ mm}$$

水平精度の確認

図 {L} を参照してください。

「ロック」スイッチ {B, 3} の位置を「ロック解除」() にします。

壁から約 5 メートル離れた場所に設置します。壁に向け、レーザー オン {B, 1} キーを押し、電源を入れます。レーザー オン {B, 1} キーでレーザー たて / よこを有効にし、壁 A にレーザー たて / よこの交差位置を印します (- A1)。

距離計を右に旋回し、次に左に旋回します。印から水平線の垂直差異を確認します。差異が 3 ミリメートルを超過しない場合、Leica LINO は許容範囲内にあります。

垂直精度の確認

図 {M} を参照してください。

「ロック」スイッチ {B, 3} の位置を「ロック解除」() にします。

レーザー たてを使用し、約 3 メートルの高さの壁にできるだけ近づけて固定します。

距離計を壁から約 1.5 メートル離れた場所の約 1.5 メートルの高さに設置します。壁に向け、レーザー オン {B, 1} キー押し、の電源を入れます。「レーザー オン」キー {B, 1} を使用して、たて方向のレーザーを有効にします。縦方向のレーザーが鉛直線の底部よりやや上に位置するま旋回します。各レーザーの差異を確認します。

差異が 2 ミリメートルを超えない場合、Leica LINO は許容範囲内にあります。

 Leica LINO 指定された許容範囲を超える場合は、認定販売代理店または Leica Geosystems までお問い合わせください。

ディスプレイ警告

気温許容範囲を下回るまたは上回る場合：

レーザーがオフになり、アイコン (2) と (1) が点滅し始めます。

自動水準範囲外の場合：

レーザーがオフになり、使用している機能のアイコンが点滅し始めます。

振り子が固定されている場合：

レーザービームの水準が維持されず、ロック アイコン {B, 7} が点灯します。

手入れと操作上の注意

機器を水にさらさないでください。水で湿らせた柔らかい布で埃をふき取ります。強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。レンズの表面は、眼鏡やカメラなどと同様の手入れをしてください。

激しい振動や落下は、機器に損傷を与える可能性があります。電源を入れる前に目に見える損傷の有無を確認してください。また定期的に精度を確認してください。

移動

安全に持ち運びロック スイッチ {B, 3} を、「ロック」状態に設定します 。

保証

Leica LINO には、Leica Geosystems AG からの2年間保証が付いています。

詳しい情報は、次のアドレスからダウンロードできます：
www.disto.com

テクニカルデータ

範囲	最低 30 メートル (受光器使用時)
計測精度	± 1.0 mm @ 5m
傾斜範囲	4° ± 0.5
水平精度	± 1 mm @ 5m
垂線精度	± 0.75 mm @ 3m 光線距離
レーザータイプ	635 nm、レーザークラス II
使用電池	AA、3 x 1.5 V
防滴・防塵	IP 54、 防塵 防滴
実用温度	-10 から 40
保管温度	-25 から 70
寸法 (高さ x 奥行き x 幅)、	96 x 91 x 54 mm
重さ	320 g
三脚用ネジ穴	1/4"

すべての図、説明、技術仕様の変更の権利は当社に帰属します。

安全の手引き

製品管理者は、すべてのユーザーがこれらの指示に従い、厳守することを確認してください。

凡例

文中のシンボルは、次を意味しています。



警告：

死亡や重症を引き起こす可能性のある危険な状態または不適切な使用を示します。



注意：

傷害、材質的、金銭的および環境の損害を引き起こす可能性のある危険な状態または不適切な使用を示します。



技術的に正しく効果的な方法で製品をお使いいただくため、この説明書に記載された事項を厳守してくださるようお願いいたします。

使用許可事項

- ・ 縦方向のレーザー光線の発射
- ・ 横方向のレーザー光線の発射
- ・ 縦横のレーザー光線の同時発射（レーザー クロスヘア）

禁止事項

- ・ 本取扱説明書を無視した製品の使用
- ・ 明記された範囲外で使用する
- ・ 安全装置をオフにしたり、説明や危険に関するラベルをはがしたりすること
- ・ 特定の状況に対し許可されていない方法で、工具（ドライバーなど）を使用して機器を使用すること
- ・ この製品を改造または転用すること
- ・ 他者にレーザー光を故意に照射すること
- ・ 安全が不十分な測定現場で使用すること

使用の制限

 「テクニカルデータ」を参照してください。

Leica LINO L2 は、人間が永続的に居住できるエリアで使用するように設計されています。爆発の危険があるエリアや安全でない環境での製品の使用は避けてください。

責任の範囲

相手先商標製品の製造会社 Leica Geosystems AG, CH-9435 Heerbrugg 責任 (社名略 Leica Geosystems): Leica Geosystems には、完全に安全な状態で、「取扱説明書」を含む製品を提供する責任があります。

Leica Geosystems は、他社製アクセサリ製品に対する責任を負いません。

製品使用者の責任：

製品を使用する担当者は、次の事項を遵守してください。

- ・ 本製品の「安全の手引き」および「取扱説明書」をよく理解すること
- ・ 事故防止のための、現地の安全規則を熟知すること

使用上の危険



注意：

誤動作または落下や誤操作・誤設定による誤った計測に注意してください。



テスト計測を定期的 to 実施してください。特に、誤って使用された場合、および重要な計測を実施する前、実施中、および実施後にテスト計測を行ってください。

「Leica LINO L2 の精度の確認」のセクションを参照してください。



警告：

電気を使い切った古い電池は家庭ごみと同様扱いで捨てないでください。環境保護を大事にして、廃棄電池を国や地元の規定によって専門的に設置された回収場所に持って行ってください。



製品を家庭ごみと同様扱いで廃棄しないでください。

製品を廃棄する時、妥当的に行なってください。所在国における現在の有効的な規定を守ってください。

授權されていない人はいつでも製品を接触してはいけません。

製品の具体的な処理と廃棄物の管理情報につ

いて Leica Geosystems のウェブサイト

(<http://www.leica-geosystems.com/treatment>) に登録してダウンロードできます。または Leica Geosystems の代理店から入手してください。

電磁波環境適合性 (EMC)



警告：

Leica LINO は、最も厳しい規格および規制の条件に適合していますが、他の機器に干渉を及ぼす可能性があります。

レーザーのクラス

Leica LINO は、可視レーザービームを機器前面から照射します。

この距離計は、次の規格に基づく、クラス 2 レーザーです：

- ・ IEC60825-1 : 2001「レーザー製品の放射安全性」
- ・ EN60825-1 : 2001「レーザー製品の放射安全性」

レーザークラス 2/II 製品：

不必要にレーザービームをのぞき込んだり、他の人に向けたりしないでください。通常は、まばたきを含む嫌悪反応により、目が保護されます。



警告：

光学補助機器（双眼鏡や望遠鏡など）でレーザービームを直視することは危険です。



注意：

レーザービームをのぞき込むことは危険です。

ラベル表示



最終ページの製品ラベルは実際のものと異なります。



Leica Geosystems AG, Heerbrugg, Switzerland has been certified as being equipped with a quality system which meets the International Standards of Quality Management and Quality Systems (ISO standard 9001) and Environmental Management Systems (ISO standard 14001).

Total Quality Management - Our commitment to total customer satisfaction. Ask your local Leica Geosystems agent for more information about our TQM program.

Copyright Leica Geosystems AG, Heerbrugg,
Switzerland 2007
Translation of original text (757665)

Leica Geosystems AG
CH-9435 Heerbrugg
(Switzerland)
www.disto.com

- when it has to be **right**

Leica
Geosystems